

## 21reha研レポート NO2

1998年10月5日

各位

総会ご案内を第1号とし、今後連番をもってお送りします。

今号は総会までの経緯を一覧にまとめ、さらに総会後の進展をご報告いたします。

内容：1、本レポート 2、返信封筒 3、寝たきり度について意見返信用紙 4、次期出版大綱案 5、総会記録 6、資料1~4

設立平成8年3月30日 総会開催地 新宿

変更平成9年1月1日報告 理事と顧問について

1998年5月7日 神奈川県産業技術総合研究所へ訓練器について技術支援申請

5月10日 理事会 開催地 八王子

5月31日まで持ち回り総会 配布趣意書による(資料1)改正後会員名簿(資料2)

6月 日本臨床整形外科医会誌論文発表

時事通信厚生福祉(配布趣意書及び日本臨床整形外科医会誌論文に基づく)

事務局長論文発表(資料3)

総会議案の内寝たきり度について意見要請

神奈川県産業技術総合研究所より訓練器について技術支援決定

7月 慶応、北里、長岡、リハビリエイドにより通産省へ補助金申請

8月27日 総会(総会記録同封)

9月 以下総会時紹介

1、遠藤副会長より訓練器に関してP T国際学会に抄録提出

2、寝たきり度最終案(返信用紙)別紙にご意見ご記載の後ご投函下さい。

3、神奈川県産業技術総合研究所へ、長澤副会長より科学技術庁R S Pへ応募予定書類作成

4、神奈川県産業技術総合研究所より訓練器について来年度共同研究の申し入れがあり福井会長と相談の上合意、県予算として要求中

5、上記のことから、本年度99年度分科学技術庁R S Pへ応募取りやめ。

6、歩行器利用による生活文化の変更について、総会了解事項に基づき、時事通信厚生福祉へ、事務局長論文発表(資料4)

10月 1、通産省より補助金申請不合格の連絡有り。(新年度厚生省へ応募予定)

2、岡本副会長より直ちにタキザワ式導入のお考えをお伺いし、リハメニューについて、ご協力させていただけるように御願いました。新病棟3月落成のご予定に合わせ、事務局長として、ご訪問し、タキザワ式導入についての器具類の確認等ご協力させていただきたいと考えております。

3、次期出版予定の大綱について、福井会長と相談内容を第一案として同封しました。(出版大綱)各章は寝たきり度が該当の章になります。別紙(寝たきり度最終案)に案の記載と共に、章名でなにかご意見がありましたら、ご記入下さい。

連絡先の変更

顧問 木村哲彦 国立リハビリテーション病院から日本医科大学医療管理学教室教授  
東京都文京区千駄木1-1-5